

列島

いんぷおめーしょん

PLUS

月刊公論ならではの視点で集めた、日本全国からの情報と世界からの話題をお届けします。

●北海道●第4回特別展「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎」

幕末期、北海道を6回踏査し、アイヌ民族の生活状況などを克明に記録した「北海道の名付け親」と呼ばれる松浦武四郎。幕末の志士や政治家、学者、文人との幅広い交流の中で〈情報通〉や〈蒐集家〉としても有名だったその希代の生涯をたどる。

【開催場所】札幌市厚別区・北海道博物館2階 特別展示室

●青森●加賀美流騎馬打毬

騎馬武者が杖で毬を奪い合い毬門（ゴール）へ毬が入った数で点数を競う勇壮華麗な馬術競技。現在日本で打毬が行われているのは3か所のみ。八戸の打毬は藩政時代の古代馬術を現代に伝えるもので、鎌倉・鶴岡八幡宮の「流鏑馬」や相馬・相馬神社の「野馬追」などと並ぶ。青森県無形民族文化財に指定されている。

【開催場所】八戸市・長者山桜の馬場

●岩手●奥州の夏まつり 奥州ころもがわ祭り

荒馬先陣行列、お石様行列、弁慶綱引き大会、新衣川音頭流し踊りパレードなどが開催される。老若男女が楽しめる奥州の夏まつり。

●宮城●東松島夏まつり2018

ブルーインパルスの展示飛行、商店街通りを練り歩く八鷹神輿、鼓笛隊パレードなどが行われる。会場はブルーインパルスにちなんだ「青」に彩られる。

●秋田●響け！鹿角の元氣！

平成28年にユネスコ無形文化遺産に登録された花輪ばやし。日本三大ばやしの一つにも数えられるこの祭りは、幸稻荷神社の祭礼祭りとして引き継がれてきた。華麗な笛と雄大な太鼓とともに、絢爛豪華な屋台（山車）が町中を練り歩く。見どころは20時頃、鹿角花輪駅に10町内の屋台がそろった駅前行事。翌日の明け方まで開催される。

【開催場所】JR鹿角花輪駅前・花輪市街地

●山形●八朝祭1400年の歴史と伝統

入峰した山伏が開祖蜂子皇子を祀った蜂子神社に祈願し、大紫灯護摩を行うことが起源と伝えられ、山伏たちによって点火される護摩。夜の羽黒山頂を照らし延々と燃える様は荘厳。

●福島●第54回郡山うねめまつり

優雅なミスうねめによるパレードや、うねめ神社における供養祭など初日から盛りだくさんで行われる郡山最大級のまつり。2日目、3日目には、うねめ踊り流し、ゆかたDEうねめコンテストなどが続き、祭りは最高潮を迎える。6000人が踊る様は一見の価値がある。

●開催場所 郡山駅前大通りなど

●茨城●あけのひまわりフェスティバル

筑波山を背景に4万平方メートル超の広大な田畑に咲く、八重ひまわり約100万本が見頃を迎える。5本300円でひまわりを持ち帰れる「ひまわり切花園」、ひまわりをキャンドルが照らし出す「ひまわり



広大な田畑に咲く、約100万本の「八重ひまわり」(筑西市)

●群馬 ●第73回草津温泉感謝祭

温泉街が一年で最も活気づくのが、湯畑特設舞台をメインに開催される、通称「温泉感謝祭」。土用の丑の日、丑の刻に入湯する事により、以後一年の無病息災を願ったという故事にちなみ開かれる。温泉への感謝へと形を変えて現代に至っている。

【開催場所】草津温泉湯畑

●埼玉 ●明治150年記念NI

PPON鉄道の夜明け(有料)

幕末期の日本人と鉄道の関わりや、鉄道技術の進化などを知る企画展。ロケット号の模型をはじめ、松永芳正「鉄道造営日記」や錦絵「汐留ヨリ横浜迄鉄道開業御乗初諸人拝礼之図」など、当社の鉄道の様子を知る数々の資料が堪能できる。

【開催場所】さいたま市・鉄道博物館

●千葉 ●平成30年 習志野駐屯

地 夏まつり

「降下訓練はじめ」、「駐屯地桜まつり」と並ぶ駐屯地3大行事の一つ。初日に花火が打ち上がる。盆踊りやお化け屋敷、自衛隊車両への体験試乗など、一日中楽しめる催しが用意されている。当日は、駐屯地内の「空挺館」も一般開放され、空挺(落下

傘部隊)に関わる資料なども展示される。

【開催場所】習志野市・陸上自衛隊習志野駐屯地敷地内

●東京 ●「琉球 美の宝庫」展(有料)

鮮やかな紅型に代表される染織や中国・日本から刺激を受けて描かれた琉球絵画・螺鈿・沈金・箔絵などの技法を使った漆芸作品を中心に琉球王国の美を紹介する。特に、首里王府を治めた尚家に継承された「国宝琉球国王尚家関係資料」は必見。

【開催場所】港区・サントリー美術館

●神奈川 ●海の生き物SOS!展(有料)

海で暮らす生き物たちが抱えるさまざまな問題について、パネル・写真等で紹介する企画展。人間の生活の影響で野生動物がおかれている現状について学ぶことができる。

【開催場所】よこはま動物園ズーラシ

●新潟 ●帰省市2018

アホッキョクグマ水中観覧ビュー

新潟ふるさと村で行うお盆の恒例行事。新潟の銘酒をはじめ、新潟名物など土産に喜ばれる商品が多数並ぶほか、ランチバイキングも実

●富山 ●特別展「古写真にみる高岡」

博物館が近年新たに収蔵した写真絵葉書を中心に、高岡の古写真が展示・紹介される。

【開催場所】高岡市・高岡市立博物館

●石川 ●輪島大祭

輪島市中心部の4つの地区(海士町・奥津比め神社、河井町・重蔵神社、鳳至町・住吉神社、輪島崎町・輪島前神社)で行われる夏祭りの総称。いずれも神様に涼をおとりたいだく「お涼み祭り」で、総漆塗りの豪華なキリコが巡行するのは、漆の里・輪島ならではの見どころである。

【開催場所】輪島市・奥津比め神社、重蔵神社、住吉神社、輪島前神社

●福井 ●あわら温泉 第13回あ

わら湯かけまつり

8月8・9日を温泉が「湧く」にかけて「わくわく温泉の日」に定め、この日に開催される夏祭り。目玉のひとつが、湯のまち広場で見物客らの手により、みこしにお湯がかけられる迫力満点の「湯かけみこし」。他

【開催場所】茂木町・ツインリンクもてぎ ホンダコレクションホール

にもステージイベント、花車の温泉街巡行、民謡の夕べ、まんじゅうまきなどが行われる。

【開催場所】あわら市・あわら温泉街

●山梨●ハケ岳ジャズフェスティバル2018(有料)

実力派ジャズマンが一堂に会するジャズフェスティバル。今年も夏のハケ岳高原でジャズが鳴り響く。

【開催場所】北杜市小淵沢町・女神の森アルソアウエルネスガーデン(アルソア野外劇場)

●長野●サマーキャンドルナイト2018

豊かな自然のなかに佇み、大正時代から続く歴史のある軽井沢高



軽井沢高原教会で開催される「サマーキャンドルナイト2018」(軽井沢町)

原教会で「サマーキャンドルナイト2018」が開催される。教会前には無数のランタンキャンドルが施され、森全体があふれるほどの光に包まれる。

【開催場所】軽井沢高原教会

●岐阜●中津川夏祭り「おいでん祭」

12日は約1500発が夜空に響く納涼花火大会。8月13日の本祭りではオープニングパレード、中津川おどり「和」に続き、風流おどり、各団体による創作みこし練り歩きなど、様々なイベントが開催される。

【開催場所】中津川市・中津川河畔(桃山)、市街地

●静岡●菊川名物夜店市

毎年8月第1金曜日・土曜日の午後6時から午後9時まで、JR菊川駅前から5丁目上までの本通り商店街約450mを歩行者天国にし、100店を超える出店が並ぶ。昔ながらの金魚すくいやヨーヨー釣りをはじめ、地域の名産品や自慢のグルメを販売。通りの各所に設けられたステージでは、幅広い街角パフォーマンスが繰り広げられる。

【開催場所】菊川市・本通り商店街

●愛知●トヨモーター展「メイド・イン・刈谷のオートバイ物語」

かつて刈谷市の美術館近くにあったオートバイメーカー、トヨモーター。1949年から自転車に取り付ける補助エンジンを製造、戦後復興期の庶民の足となった。10年の軌跡を、貴重な実車、設計図、パンフレット、写真などで紹介。また、同時期に70余のメーカーが参加し、公道レースが行われた中京圏のオートバイ史も概観する。

【開催場所】刈谷市・刈谷市美術館

●三重●麻加江かんこ踊り

音頭取りとほら貝の音色に合わせて、シャグマや腰蓑を身に付けた青年男子が、かんこを鳴らして勇壮に舞い踊り、また花笠をかぶった童女が、綾竹を使って綾おどりを舞う。

【開催場所】度会郡・慶林寺

●滋賀●2018びわ湖大花火大会

琵琶湖の夏の風物詩となつてい、びわ湖大花火大会。約35万人もの人出で湖畔が賑わう中、豊かな自然を背景にスターマインなどが打ち上げられる。湖のほとりで、夜空に咲く花火が堪能できる。

【開催場所】滋賀県宮大津港沖水面(京都) ●京都 ●京の七夕(有料)

旧暦の七夕にあたる8月に「願い」の祈りをテーマに開催される京の夏の夜の風物詩。メインエリアの堀川・鴨川ほか京都各地で開催。それぞれの特色を生かした、京都ならではの七夕の風情が楽しめる。全国から集められた「願い」は、京都五山の送り火、清水寺などでお焚き上げし、京の空高く届けられる。

【開催場所】京都一帯

●大阪●3大交響曲の夕べ(有料)

炎のコバケンの異名を持つ小林研一郎氏が、誰にでも聴き馴染みのある名交響曲3曲を指揮する。指揮：小林研一郎 管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団 曲目：シュベルト：交響曲第7番「未完成」、ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」、ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」

【開催場所】大阪市北区・フェスティバルホール

●兵庫●兵庫県政150周年記念事業 春季企画展「吉祥の図像」(有料)

様々な紋様や銘文が表現された

鏡の背面。その中には、人々が鏡の持つ神秘的な力に幸福の到来を託したことがある。繁栄や長寿など、時代を超えて人々が願う想いが込められた図像が展示される。

【開催場所】兵庫県立考古博物館加西分館・古代鏡展示館

●奈良 ●飛鳥の夏のひょうたん展

かわいひょうたんのプラントーが展示される。ユーモラスなたちのひょうたんを鑑賞する。

【開催場所】奈良県・国営飛鳥歴史公園 園館

●和歌山 ●竹燈夜 in 山東2018

竹灯ろうと子ども達が描いたペーパーカップキャンドル2万本、そして竹スピーカーによる音空間。

【開催場所】和歌山市・伊太祁曾神社

●鳥取 ●江尾十七夜

8月17日、江尾の町はノスタルジックな空気に包まれる。伯耆の国江美城主の蜂塚一門が、盂蘭盆17日の夜、城門を開放し、町民や農民とともに盆の供養と豊年を祈つて朝まで無礼講で踊り明かしたという伝統的な祭り。500年の伝統を持つニッポンの懐かしいお祭りだ。

【開催場所】奥大山江府町・江尾の町中

●島根 ●第105回島根大学総合博物館市民講座

石見銀山の世界的意義とは？島根大学博物館講座「石見学Ⅱ」シリーズの第3弾。今回は仲野義文・石見銀山資料館館長が石見銀山の開発とグローバル世界の誕生」をテーマに石見銀山の世界的意義について解説する。

【開催場所】松江市・市民活動センター

●岡山 ●2018おかやま果物時間

7月から10月までの4か月間、市町村や観光事業者と連携して開催される展開される観光キャンペーン。飲食店でのフルーツメニューの提供や、桃・ぶどう狩りバス運行をはじめ、従来「晴れの国おかやまデスティネーションキャンペーン」で好評だった朝・夕を楽しむ企画を実施。

【開催場所】岡山県全域

●広島 ●因島水軍まつり「海まつり」

村上水軍を再現する「因島水軍まつり」。3部構成のうちのひとつ、小早レースを中心に汗を流し競い合

う「海まつり」。村上水軍が伝令船として使用した木造船「小早」による競争レースが行われる。当時の水軍の繁栄を現代に伝える勇壮なお祭りだ。

【開催場所】尾道市・因島アメニティ公園・しまなみビーチ

●山口 ●明治150年記念特別展 激動の幕末長州藩主 毛利敬親（有料）

天保8年（1837）、長州藩13代藩主を襲封した毛利敬親（1819〜71）。激動の幕末維新期に藩政の舵取りを任された敬親は、改革を断行し、有能な人材育成、国事周旋などにより、幾多の難局を乗り越え、明治維新達成に大きく貢献した。彼の生涯と事績を中心に、幕末のリーダーの実像に迫る。

【開催場所】山口市・山口県立美術館

●徳島 ●古代の南極の水を触ってみよう

砕氷艦しらせが持ち帰った南極の水を触ってみよう！じっくり観察してみよう。

【協 力】自衛隊徳島地方協力本部

【開催場所】板野郡板野町・徳島県立あすたむらんど子ども科学館前

●香川 ●四国村の風鈴飾り（有料）

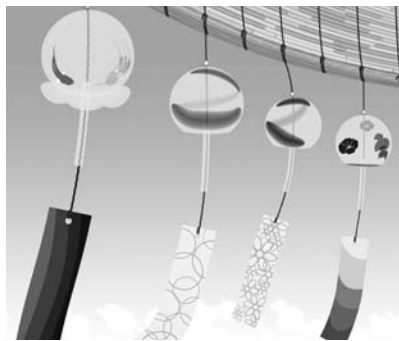
源平合戦で知られる香川県屋島にある四国村。各地から移築復原した民家や建造物と安藤忠雄氏設計のギャラリーを散策できるスポット。四季の花々が楽しめる場所としても人気で、毎年恒例となった「風鈴飾り」が人気。村内に飾られた約400個の風鈴の音に涼を感じながら古民家を散策できる。

【開催場所】高松市・四国村

●愛媛 ●五反田の柱まつり

戦国時代の元城と金剛院の修験者の戦国哀話の伝説が起源。この火祭りは悪病の霊を鎮めるためのお祓い神事。高さ約20mの柱に麻木籠を取り付け、籠に向かって松明を放り投げて籠が燃え上がるまで幾夜でも

毎年恒例となった四国村の「風鈴飾り」（四国村）



毎年恒例となった四国村の「風鈴飾り」（四国村）

続けられる。美しい火の玉が闇の中で尾を引く光景は勇壮かつ幻想的。

【開催場所】八幡浜市・王子の森公園

●高知 ●第68回全日本女郎ぐも相撲大会

市内中心部にある一條神社境内で、子どもたちの夏の思い出として開催されている催しで、全国では、四十万市と鹿児島県加治木町のみに残る伝統行事。土俵となる棒の上に、女郎ぐも2匹を向かい合わせ、その戦いを観戦する。参加の対象は小学生。

【開催場所】四十万市・一條神社

●福岡 ●第31回わっしょい百万夏まつり

北九州市最大の夏祭り。2018年は「百万一心く創ろう。愛と夢を育むみんなのまつり！」をテーマに、様々なイベントが開催される。北九州市が誇る山笠や山車が競演する人気イベント・夏まつり大集合、子ども夢ステージ、約1万人の市民が色とりどりの衣装で踊る百万踊り、全4会場で行われるわっしょいYOSAKOI北九州など、内容盛りだくさん。

【開催場所】北九州市・勝山公園、小

文字通り、小倉城周辺ほか

●佐賀 ●グケグッ!! グリコ展

―佐賀に生まれた創業者江崎利一の想いにせまる―(有料)

佐賀県出身の江崎グリコ創業者江崎利一にフォーカスした初の展覧会。昭和初期の映画付きグリコ自動販売機のレプリカや、歴代の大阪道頓堀ネオンサインシオラマ、これまでに出版された数百点ものグリコのおまけなど、大人から子供まで楽しめる内容。

【開催場所】佐賀市・佐賀県立美術館

●長崎 ●アメリカンフェスティバル in SASEBO

みんなが楽しめる、ここだけのアメリカ&SASEBO DAY S! 世界のグルメ屋台やステージイベントはもちろん、スペシャルゲストショー、3on3やフットサルなど参加型のスポーツ交流、花火の打ち上げなどアメリカを楽しむ2日間。

【開催場所】佐世保市・ニミッツパーク・佐世保公園

●熊本 ●八代くま川祭り

日本三急流に数えられる熊本県の球磨川河口に広がる八代市では、毎年8月に市民総参加のイベント「八

代くま川祭り」。メインイベントの総

踊りは約5000人が二斉に踊りだし、庄巻の迫力! 子どもから大人まで八代の夜が活気付くお祭りだ。

【開催場所】八代市・中心商店街、袋町く旭中央通

●大分 ●やまくにGenryu夏まつり2018

山国子供神楽や高校生ブラスバンド、レーザーショーなどのステージイベントや、まちおこしグループの出演、大抽選会などが楽しめる。

【開催場所】中津市・しもげ商工会山

●宮崎 ●第44回天下一五ヶ瀬川イカダ下り大会(有料)

水郷のべおかの母なる川・五ヶ瀬川を川下りすることで親睦と交流を図る。自然と触れ合うことでふるさとを再発見し、河川愛護の心も育まれる、地域に根差した催しだ。設定区間でのタイムレース、ゲーム、イカダのデザイン、クルーのコスチューム等の総合得点で順位を競う「手作りイカダ」とゴムボートやカヌーで川下りを満喫する「番外編」がある。

【開催場所】延岡市・五ヶ瀬川(岩熊大橋河川敷く大瀬橋河川敷)

●鹿児島 ●はんぎり出し

江戸末期の新田干拓の時につくられた潮だまりの管理をするためにおかれた水守は、給料のかわりにこの潮だまりの漁業権を与えられていた。彼らが日を決めて許可証を出し、エッナ(ボラの子)を取ったのがその起源。「ハンギリ」とは馬の飼料桶のことで、「半切り」という底の浅い桶を使用したことからハンギリ出しという。毎年盆明けの8月16日の精進落としの行事として行われ、獲れたエッナはその場で酢味噌を付けて食べられる。

【開催場所】霧島市・国分広瀬湖遊池

●沖縄 ●第63回 沖縄全島エイサーまつり2018(有料)

3日間で30万人以上を動員する沖縄県最大のエイサーイベント。9月15日(金)は市街地を練り歩く「道じゅねー」が見どころで、16日(土)、17日(日)はコザ運動公園をメイン会場に、沖縄市青年団協議会による「沖縄市青年まつり」と、全島から集結した青年会が代々受け継いできたエイサーを個性豊かに繰り広げる「全島エイサーまつり」を行う。

【開催場所】沖縄市・コザ運動公園、コザ運動公園陸上競技場